

インタビュー
家族に迎えて

センターから譲渡されたワンコ
その後、どうしていますか？

不思議な御縁で
おうちにやって来た治朗くん

京都市東山区 田中 様



▲お母さんに抱っこされて満足気な治朗くん



▲お手のご褒美はおやつ♪



▲ご家族の絆を感じる1枚

田中さんは友人の勧めがキッカケで、令和3年1月にセンターでの譲渡申込をされました。当時保護されていた治朗くん（センター名：だいふく）は、田中さんが以前飼われていた犬と同じシズーで、年齢が近いことにも縁を感じられ、家族に迎え入れることに決められました。

迎えられた初日こそ緊張して吠えていた治朗くんですが、すぐに環境になれてくれたようです。そんな治朗くんの性格は、物怖じせずマイペース。散歩コースもその日の気分で変わります。マイペースな治朗くんに合わせて楽しむことも楽しそうに話されているのが印象的でした。

治朗くんは、ご主人が帰宅された時には必ず玄関でお出迎えをしてくれるそうです。治朗という名前の「治」も、御主人のお名前から一字取ったということで、御夫婦の愛情を一心に受けていることが分かり、これからも家族の絆を育てて欲しいと感じる取材でした。（水上）

犬猫の飼い主さん募集

～新しい飼い主さんになっていただけませんか？～

センターでは、引き取った犬猫のうち、適性があると判断した犬猫を希望者に譲渡する制度があります。犬や猫の譲渡を希望される方は、是非センターまでお問合せください。ただし、犬や猫の譲渡には、以下の条件がありますので、あらかじめ御了承ください。

譲渡できる方の主な条件（詳細は、センターへ御確認ください。）

- ・京都府域にお住まいの成人で、譲渡希望者自身が飼い主となること。
- ・ペットの飼養が制限されていない住宅にお住まいであること。
- ・飼い主として責任を持ち、家族の同意を得て、家庭で犬や猫を適正に終生飼養できること。 など

ぼくたちと暮らしませんか？

※既に譲渡先が決定している場合があります。



きなこ 1歳 オス 20kg



ソラ 推定10歳 オス 10kg



リヴァイ 11歳 オス 15kg



ニコ 5カ月齢 オス 12kg



ほく 1歳 オス 16kg

京都動物愛護センターへのアクセス

- 近鉄十条駅から徒歩 5分
 - 京都市営地下鉄烏丸線 十条駅から徒歩 15分
 - 京都市営バス 十条大宮停留所から徒歩 5分
- ※無料駐車場はございません。

〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町 11 番地
TEL : 075-671-0336
FAX : 075-671-0338
開所時間 : 午前 9 時～午後 5 時
休 所 日 : 木曜日 (祝日の場合は翌平日)
年 末 年 始

Facebook → <https://www.facebook.com/anilove.kyoto/>
Twitter → <https://twitter.com/kyotoanilove>



京都動物愛護センターマスコットキャラクター
LINEスタンプ第2弾発売中



本紙の作成には「京都市動物愛護事業推進基金（人と動物が共生できるまちづくり基金）」が活用されています。動物愛護推進基金に寄附していただいた方のうち、希望者についてはホームページで公開しており、ふるさと納税の適用も可能です。なお、寄附の方法については、こちらのホームページを御覧ください。

→ <http://kyoto-ani-love.com/>

この機関紙は行政とボランティアが協働で作成しています。

京都動物愛護センター機関紙
愛ランド通信

令和4年度 春号

— 人と動物の共生を目指して —



特集 毎日の犬の散歩を考える

動物お悩み相談室
花による食中毒

ペットのためのマナー&ルール
猫の室内飼いのススメ
～愛猫を守るために～

センターニュース
お家に保護犬を迎えてみませんか？

インタビュー 家族に迎えて
不思議な御縁で
おうちにやって来た治朗くん

犬名：パル 推定5歳 オス

特集 毎日の犬の散歩を考える



「犬を飼う楽しさ＝一緒に散歩する」とイメージされる方も多いですが、毎日の犬の散歩は時間も手間もかかります。また、外でしか排泄しない犬の飼い主さんは、天気の良い日でも散歩に行かざるを得ない場合があります。一方で散歩で得られる犬との時間はかけがえのない時間です。春夏秋冬を愛犬と共に楽しみましょう。



▲今日はどこまで散歩しよう？



散歩時間の目安（成犬の場合）

- ・大型犬 1日2回 30～60分 程度
- ・中型犬 1日2回 30分 程度
- ・小型犬 1日1回 30分 程度

夏の暑いときは涼しい時間に散歩に行くなど、季節や天気に配慮し、愛犬の年齢や体調に気を付けながら、無理のない範囲で散歩に行きましょう。



▲いろんな場所に興味津々！



散歩によるメリット

体力維持・リフレッシュ
地面の感触や空気を楽しみながら、足腰の筋力をアップ。ストレスも解消できるよ。

お友達ができる
犬同士の遊びやコミュニケーションがとれるよ。飼い主さん同士の情報交換もできるね。

排泄状況を確認できる
排泄物を毎日確認することは、体調の変化の指標になります。



▲色んなところに行きたいワン ▲クンクン。地面は情報の宝庫です。

散歩中に注意する事

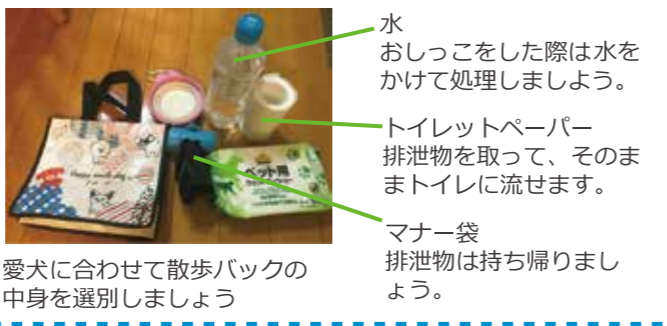
- ・犬が怪我するような、危険な所には行かないようにしましょう。
- ・犬を触ろうと近づいてくる人が来たら、犬が人に飛び掛らないようにリードを短く持って、犬の動きを制御できるようにしましょう。犬が嫌がっていたら、人に近づかせるのをやめましょう。
- ・犬は散歩中、匂いを嗅いでスムーズに前に進みませんが、無理に引っ張らず、出来るだけ犬のペースに合わせて、匂いを嗅がせてあげましょう。
- ・犬が散歩中に落ちている物を食べる事があります。危険な物を食べないように、注意しましょう。



こここの匂い嗅ぎたいから動かないよ！

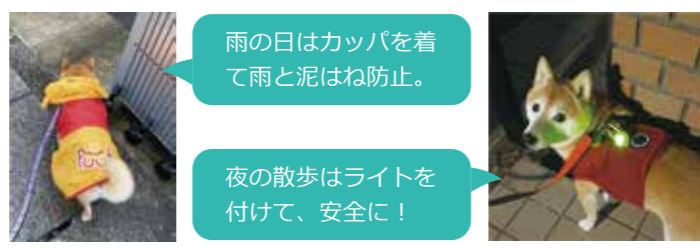
著者も犬を飼っていますが、散歩中は匂いをずっと嗅いでいたり、草むらに入ったり、思うように歩いてくれないものです。しかし、散歩中に最高の笑顔で「楽しいね！」と話しかけてくれているような顔をみせてくれて可愛い所を堪能出来る時間でもあります。長いようで短い犬の人生、共に楽しい散歩時間を過ごしましょう。

お散歩バックの中身



- 水
おしっこをした際は水をかけて処理しましょう。
- トイレトペーパー
排泄物を取って、そのままトイレに流せます。
- マナー袋
排泄物は持ち帰りましょう。

愛犬に合わせて散歩バックの中身を選別しましょう



- 雨の日はカッパを着て雨と泥はね防止。
- 夜の散歩はライトを付けて、安全に！

散歩から帰ってきたら のんびりしましょう。

散歩から帰ってきたら、ブラッシングをして、手足を拭いてあげましょう。体に付いた草や土を取るついでに、愛犬の体に触って変化がないか見てあげるのも大事な健康チェックです。



▲散歩終わりのブラッシング ▲水分補給！

こんな散歩は危険！

- ・自転車での犬の散歩はおすすめできません。犬が突然方向転換して自転車で犬を轢いてしまったり、犬が自転車のスピードに合わせて走り続けなければならず、虐待になりかねません。バイクに乗っての犬の散歩も見た事がありますが、自転車や乗り物に乗っての犬の散歩はやめましょう。
- ・ノーリードでの散歩は禁止されています。犬が追いかげられない程遠くに行ってしまう人や他の犬に怪我を負わしたり、車に轢かれたり、迷子になったりする可能性があります。



今日の散歩も楽しかったね♪



花による食中毒

猫に有害なものがあります

植物の中には猫が食べると中毒を起こすものも多くあり、環境省もガイドラインで注意を呼びかけています。肉食動物である猫は植物に含まれるある種の物質に中毒を起こし死亡してしまうケースもあるようです。

- 注意を要する植物一覧（抜粋）
- ユリ・チューリップ・ヒヤシンス・スズラン・カーネーション・スイセン・モモ・シクラメン・ポインセチア・ツツジ・シャクナゲ・サツキ・アザレア・アジサイ・パンジー
 - 花・葉・茎・根・種等を含む

中毒の症状は様々

ユリ科の植物は特に毒性が強く、誤って食べてしまった場合には腎臓に障害を起こし下痢・嘔吐・食欲不振・大量のよだれ・ふらつきなどの症状が現れます。最悪の場合、数日で死亡に至る事例も報告されています。

生きてある花瓶の水を飲んだり、花粉を吸っただけでも症状が出ることもあり、発症してしまうと有効な治療法がありません。毒性のある植物はユリ以外にもたくさんありますので、花を飾るときは猫のいない部屋に飾るようにしてください。また屋外にも危険な植物があります、猫は室内飼育を徹底しましょう。



▲何でも興味を示します

もしもの時は動物病院へ！

猫は新しいものがあると臭いを嗅いだり、なめたり、かじったりします。一覧表の植物以外にも多くの植物がトラブルの原因となります。飼い主さんが、猫にとって有毒な植物の摂取に注意し、下痢や嘔吐などの中毒症状が出る前に動物病院へ連れて行くようにしましょう。

ペットのための マナー&ルール

猫の室内飼いのススメ ~愛猫を守るために~

猫にとって屋外は交通事故や感染症、猫同士の喧嘩による怪我など、危険がたくさんあります。望まない繁殖やご近所とのトラブルに発展すること。これらの危険から愛猫を守るためにも、室内飼いをしましょう。キャットタワーの設置や、しっかりと遊んであげることで運動不足も解消できます。また、隠られる場所や爪研ぎ場所があるとストレス軽減にも役立ちます。

なにより、一緒に過ごす時間が増えることで、お互いの愛情がよりいっそう深まっていくことでしょう。(島口)



愛猫を守るのには飼い主さんだけです

お家に保護犬を迎えてみませんか？

令和3年12月11日(土)に犬の譲渡会を開催しました。当日は約40名の方が参加いただき、犬たちは緊張している様子を見せていました。当日登場した犬の中には、おそらく遺棄され、山中を徘徊していたところを保護された犬がいました。



▲犬によっては触れ合うこともできます



▲譲渡室の見学中

職員は各犬の性格や保護に至った経緯などを説明しながら、見学者とのマッチングを図ります。保護犬を飼うことに難しいイメージを持たれる方が多い一方で、心を通わし段々と変化を感じられる過程も保護犬を飼うことの醍醐味だと思います。譲渡会は毎月開催しておりますので、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。(ひがしで)